

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 3. 17 — 第 9 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 1 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、3 月 17 日（金）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次の通り発表した。

- 平均賃金方式で回答を引き出した805組合の加重平均は11,844円・3.80%（昨年同時期比5,263円増・1.66ポイント増）となった。比較可能な2013闘争以降で、額・率とも最も高い結果となった。賃上げ分が明確にわかる612組合の賃上げ分は6,907円・2.33%（同5,265円増・1.83ポイント増）で、賃上げ分が明確にわかる組合の集計を開始した2015闘争以降、最も高くなった。
805組合のうち、300人未満の中小組合398組合の加重平均は9,026円・3.45%（同3,642円増・1.40ポイント増）で、同様に2013闘争以来最も高い結果である。うち賃上げ分がわかる256組合の賃上げ分は5,724円・2.12%（同3,978円増・1.49ポイント増）となった。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給61.73円（同35.48円増）・月給10,598円（同5,918円増）と、昨年同時期を大幅に上回った。引き上げ率（概算）は、時給5.91%・月給4.58%で、いずれも一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- 物価上昇下の組合員の生活の安定、「人への投資」の必要性、人材の確保・定着への効果などを訴え、月例賃金にこだわった組合の要求と粘り強い交渉の結果であると評価する。また、交渉に真摯に応じ社会の期待に沿った回答を決断した経営側にも敬意を表する。

連合北海道は、第 1 先行組合の集中回答ゾーンの最終日となる本日、回答集計を行った。

妥結報告のあった組合は、20 組合・20,427 人（昨年同時期 14 組合・17,593 人）となり、満額回答を得た複数の組合が早期妥結したことにより昨年同時期に比べ増加している。（3 月 17 日 12 時現在）

報告のあった組合が少数であることや、集計組合が昨年と同一ではないため単純には比較できないものの、月例賃金の加重平均では 8,995 円の引き上げ、率で 3.27%となり、昨年同時期と比べ 3,142 円増となった。引き上げ率では 300 人未満の中小組合（3.97%）が、300 人以上の大手（3.27%）を上回っている。ベースアップ分が明確にわかる 17 組合のうち 300 人未満の 8 組合のベースアップは 8,221 円で、300 人以上の 4,221 円を大きく上回った。

翌週からは、中堅・中小、そして地場組合の交渉がヤマ場を迎える。連合北海道は、構成組織及び地域協議会・地区連合と緊密に連携を取り、処遇改善に全力で取り組んでいく。

組合規模別賃上げ状況 2023 年 3 月 17 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年比
300 人未満	8 組合	916 人	7,976 円 (3.97%)	1,606 円 (*****)	6,370 円 (*****)
300 人以上	12 組合	19,511 人	9,032 円 (3.26%)	5,976 円 (2.09%)	3,056 円 (1.17%)
計	20 組合	20,427 人	8,995 円 (3.27%)	5,853 円 (2.09%)	3,142 円 (1.18%)

* 昨年、300人未満の妥結率については集計可能なデータがなかったため記載をしております。